



■QuarkXPress 6をおすすめする理由

Reason 1 MacOSX環境とMacOS9環境の橋渡し

QuarkXPressがサポートする下位ファイル保存はひとつ前のバージョンまでになります。そのため、QuarkXPress 8日本語版がサポートするファイル保存形式はバージョン6までです。これはQuarkXPress 4以前で作成されたファイルを次期日本語版で編集すると、それ以降、MacOS9アプリケーションであるQuarkXPress 4では編集できなくなることを意味します。QuarkXPress 4の業務を継続されるお客様にはQuarkXPress6が必要です。QuarkXPress 6は、MacOSX環境とMacOS9環境の橋渡しができる唯一のバージョンになります。(下図：バージョン別下位ファイル保存一覧表)

	Ver.8 保存	Ver.7 保存	Ver.6 保存	Ver.4 保存	Ver.3 保存
QuarkXPress 8	○	○	○	×	×
QuarkXPress 6	△	△	○	○	×
QuarkXPress 4	△	△	△	○	○

MacOSX | MacOS9

Reason 2 Intel MacにRosetta起動で対応

QuarkXPress 6日本語版はMacOS10.4 (Intel) Rosetta環境で起動ができます。同じマシン内にQuarkXPress 8をインストールして、QuarkXPress 4形式までのスムーズな下位ファイル保存を行うこともできます。

Reason 3 QuarkXPress 3のサポート終了

QuarkXPress 3は2001年にハードウェアキー（ dongle ）の生産や技術サポートを終了しています。ハードウェアキーが故障するとQuarkXPress 3をご利用いただけなくなります。QuarkXPress 4は2009年7月31日にハードウェアキー（ dongle ）、インストーラーの検証および交換、再発行を含む全てのサポートが終了致します。現在、QuarkXPress 4を使用した業務をメインに行われているお客様には、これからも安心できる作業環境構築のために、QuarkXPress 8も含めた新しいQuarkXPressへの移行をお勧めいたします。

QuarkXPress6へアップグレードする理由

■お客様からよく聞かれるアップグレードできない2つの理由

最新のQuarkXPressにアップグレードできない理由として、それらのソリューションを用意しました。

Solution 1 コストの問題 すべてのお客様がお求めやすくなるようにQuarkXPress製品は2006年11月に価格改定を行いました

QuarkXPress 6 新規製品 80,850円 (税込)

QuarkXPress 6 アップグレード製品 20,790円 (税込)

Solution 2 既存ファイル移行に関する不安

●旧バージョンのファイルに対応

QuarkXPress6日本語版は完全下位互換です。旧バージョンで作成したファイル、Macintosh、Windowsといったプラットフォームの違いに制限されることなく、既存のファイルを開くことができます。

●QuarkXPress4との互換性について

QuarkXPress6とQuarkXPress4は共通の文字組仕様です。QuarkXPress4ファイルをQuarkXPress6で開いた際、またQuarkXPress6からQuarkXPress4形式のファイル保存を行った際も、互換の保証されたフォントを使用することで文字組を維持したファイル互換を実現します。

※フォント互換に関する動作保証を含め、詳細はご利用のフォントメーカーにお問い合わせください。

●フォント置換が必要な場合（例：QuarkXPress3ドキュメントのOCFフォントからの置換など）

他フォントへの置き換えが発生する場合、フォントの仕様が変わるため、文字組が影響を受けることがございますが、ドキュメント手直しの行程が少なかったり、ほとんどの実作業が不要な場合もあります。お客様の既存ファイルを新しい環境で使うことは必ずしも手間がかかることではありません。製品ご購入前にQuark社のWebサイトからダウンロード可能なQuarkXPress6デモ版をご利用いただき、既存ファイルを開き、レイアウトをご確認いただくことも可能です。

●決まったフォント置換の手間を省く

QuarkXPress6のフォントマッピング機能は、不足フォントに対するオリジナルのフォント置換ルールを作成できます。一度ルールを作成すれば、全てのファイルに自動適用されます。フォント置換の手間を省き、このルールを制作チームで共有すれば、フォント置換の相違も防げます。

既存ワークフローを刷新する充実の高機能

QuarkXPress 6の新機能は、これまでの業務ワークフローを刷新して、作業効率の向上、業務時間の大幅短縮を実現する可能性を持っています。またQuarkXPress 8日本語版とQuarkXPress 4日本語版へのファイル互換を行うための重要なバージョンでもあります。QuarkXPress 6の数ある新機能の一部をQuarkXPress 4と比較し以下に紹介いたします。



QuarkXPress 6



QuarkXPress 4

MacOSXネイティブ環境で動作

MacOSXネイティブ環境で起動します。さらにQuarkXPress 6.5.1はIntel MacのRosetta環境で起動できます。

MacOSX Classic環境、MacOS9以前での起動に限定されます。

OpenTypeフォントをサポート

OpenTypeフォントに対応しました。OpenTypeフォントを使用した文字組、高品位出力が可能です。

OpenTypeフォントをサポートしていません。

ダイナミックダウンロード

ダイナミックダウンロード機能によってOpenType/CIDフォントは、出力用フォント無しで高品位出力が可能になりました。

出力機に出力用のプリンタフォントがインストールされている必要があります。

PDF書き出し

直接PDF書き出しが行えます。フォントのエンベッドや画像圧縮率のコントロールにも対応しています。

Postscriptファイルを他アプリケーションでPDF変換する必要があります。

DeviceN機能搭載(RIPセパレーションに対応)

コンポジットPostscriptファイルやPDFは、RIPセパレーションによる色分解出力に対応できます。

コンポジットファイルはトラップ設定が正確に維持されず、RIP側での色分解をサポートしていません。

Photoshopネイティブファイルをサポート

直接PSDファイルを取り込み、レイアウト上で「描画モード」「レイヤー」「チャンネル」「パス」など各種設定が変更できます。

PSDファイルはEPS形式等に変換しレイアウトに配置する必要があります。

表組みを簡単作成/Excelファイルをインポート

テーブルツールによって表組みも簡単作成、さらにExcelファイルのインポートも実現。

表組み作成ツールを搭載していません。Excelファイルのインポートもできません。

レイアウトスペース機能

異なるサイズのファイルや異なるドキュメントをひとつのファイルとして管理できます。

異なるファイルサイズ、異なるドキュメント毎に新しいファイルを作成する必要があります。

高解像度プレビュー

EPS画像のプレビューを高解像度表示することができます。

EPS画像の低解像度プレビューのみレイアウト上に表示できます。

マルチアンドウーリドゥー(取り消し/やり直し)

作業履歴を確認しながら、最大30回の取り消し/やり直しに対応しています。

1回のみに対応です。テキスト取り込みなど、取り消せない操作も多数あります。

お客様にお伝えしたい重要情報

アップグレード後の旧バージョンについて

グローバル・ソフトウェアライセンス契約書の改定により、アップグレードされた場合でも、同一コンピューター上にインストールされている場合に限り、新旧両バージョンをご使用いただくことが可能です。ただし、サポート権はアップグレードされた新バージョンに対してのみ適用されますので、アップグレード後はハードウェアキー検証および交換等を含む旧バージョンへの全てのサポートは終了いたします。詳細はこちらをご覧ください。

http://japan.quark.com/company/xp6_eula.html



クォークジャパン株式会社
カスタマーサポートセンター

〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-4-8 West 248 bldg

営業時間：月曜～金曜（祝祭日および弊社指定休業日を除く）

AM9:00～PM5:00

TEL: 03-3476-9440 FAX: 03-3476-9441

<http://japan.quark.com>

ウェブサイトでは最新情報のご案内、Eメールでのご質問を承っております。

●QuarkXPressについてのお問合せは、お近くの販売店にご相談ください。
もし販売店でおわかりにならない時は、当社（左記）までお気軽におたずね下さい。